

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B1)

(11) 特許番号

特許第6229107号  
(P6229107)

(45) 発行日 平成29年11月8日(2017.11.8)

(24) 登録日 平成29年10月20日(2017.10.20)

(51) Int.Cl.		F 1			
<b>A 6 1 F</b>	<b>13/14</b>	<b>(2006.01)</b>	A 6 1 F	13/14	R
<b>A 4 1 B</b>	<b>9/12</b>	<b>(2006.01)</b>	A 4 1 B	9/12	Z
<b>A 4 1 D</b>	<b>13/05</b>	<b>(2006.01)</b>	A 4 1 D	13/05	

請求項の数 2 (全 5 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2017-33281 (P2017-33281)</p> <p>(22) 出願日 平成29年2月24日 (2017. 2. 24)</p> <p>審査請求日 平成29年2月24日 (2017. 2. 24)</p> <p>特許権者において、権利譲渡・実施許諾の用意がある。</p> <p>早期審査対象出願</p>	<p>(73) 特許権者 300038206</p> <p>尾谷 良信</p> <p>北海道札幌市北区北20条西5丁目1番地 4号シティハイムナカムラ201号</p> <p>(72) 発明者 尾谷 良信</p> <p>北海道札幌市北区北20条西5丁目1番地 24号</p> <p>審査官 北村 龍平</p>
---	---

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 股用Y字型パッド

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

正面から見て布を使用したYの字を逆さまにした形状にして、股用Y字型パッド本体(1)の上部に横長長方形の、スチレン系エラストマー合成樹脂を使用した下着側止着材(3)を貼り付けて、下着側と密着し易いようにして、背面側には、2重ガーゼまたは不織布の陰部を被う布(2)を設け、前記陰部を被う布(2)は、股用Y字型パッド本体(1)と接する箇所には、前記股用Y字型パッド本体(1)と前記陰部を被う布(2)を密着させる止着材(3-1)を貼り付けたことを特徴とする股用Y字型パッド。

【請求項2】

股用Y字型パッド本体(1)の正面上部にあるスチレン系エラストマー合成樹脂を使用した下着側止着材(3)と、上部に横長長方形の前記股用Y字型パッド本体(1)と前記陰部を被う布(2)を密着させる止着材(3-1)を使用しているが、両面テープに変えて使用することが出来る請求項1記載の股用Y字型パッド。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、かゆみのある股に薬を塗ったあとで、下着と皮膚の中間に擦れを防止して、且つ、薬が下着に直接つかないようにした股用Y字型パッドに関する。

【背景技術】

【0002】

股の皮膚にかゆみが生じた場合、皮膚科で薬を塗って頂いたあとで、下着に薬がつかないように又、患部をガーゼで被い、且つ下着と離れることがないようにした構造のものは、他に見当たらない。

【特許文献1】特開2008-142556号公報（使い捨てパンツ型おむつ）

【特許文献2】特表2007-533334号公報（股用人工装具）

【特許文献3】実登3060331号公報（アトピー性皮膚炎患者等の手掻き動作防止用バンド）が開示されているが、構造及び技術的な内容がことなる。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

10

【特許文献1】特開2008-142556号公報

【特許文献2】特表2007-533334号公報

【特許文献3】実登3060331号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

股にかゆみ、かぶれ、ただれ、湿しん、皮膚の乾燥等が生じた場合は、皮膚科で塗布剤を塗った後、患部をガーゼで被い、下着との擦れを防ぐようにしなければならないが、特にかゆみが強く発生する場合は大変困難である。

その都度ガーゼを用意しても、ガーゼと下着との関係が難しく、何とかしなければならない課題である

20

【課題を解決するための手段】

【0005】

課題を解決するために本発明は、以下の構成とした。

本発明の全体の構造は、正面から見て布を使用したYの字を逆さまにした形状にして、股用Y字型パット本体（1）の上部に横長長方形の止着材（3）を貼り付けて、背面側の、2重ガーゼまたは不織布の陰部を被う布（2）を密着させる構造にした。

【0006】

止着材（3）は、スチレン系エラストマー合成樹脂を使用して、下着側に着脱可能に密着させる。

30

また、正面から見て、股用Y字型パット本体（1）と背面の2重ガーゼまたは不織布の陰部を被う布（2）との接する部分には、上部に横長長方形の止着材（3-1）を貼り付けた。

【0007】

本発明の大きな特徴として、股用Y字型パット本体（1）の背面に設置した、2重ガーゼまたは不織布の陰部を被う布（2）に薬・体内から出てくる血液・膿などで汚れたら取り外して、交換することが容易に出来る。

【発明の効果】

【0008】

1．塗布剤を塗った後で、下着と股用Y字型パット本体は、ずれが少なくなる。

40

2．塗布剤を塗った薬は、直接下着に接することが少なくなる。

3．ワンタッチで取り替えが可能になり、下着の汚れも少なくなる。

4．小さく畳んで持ち運び可能である。

5．股用Y字型パット本体（1）の背面に設置した2重ガーゼの陰部を被う布（2）に薬・体内から出てくる血液・膿などで汚れたら取り外して、交換することが容易に出来る。

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】股用Y字型パット正面図

【図2】股用Y字型パット背面図

50

【図3】2重ガーゼの陰部を被う布正面図

【図4】股用Y字型パットの分解説明図

【発明を実施するための形態】

【0010】

課題を解決するために本発明は、以下の構成とした。

本発明の全体の構造は、正面から見て布を使用したYの字を逆さまにした形状にして、股用Y字型パッド本体(1)の上部に横長長方形の止着材(3)を結合させて、また背面側は、2重ガーゼの陰部を被う布(2)を使用した。

塗布剤を塗った後で、下着と股用Y字型パッド本体(1)は、ずれないようにした。また、塗った薬は、直接下着に接することが少なくなり、下着の汚れも少なくなる。

10

【0011】

止着材(3)は、スチレン系エラストマー合成樹脂を使用して、下着側に着脱可能に密着させる。

また、正面から見て、股用Y字型パッド本体(1)と背面の2重ガーゼの陰部を被う布(2)との接する部分は、上部に横長長方形の止着材(3-1)で密着させた。

股用Y字型パッド本体(1)の正面上部にあるスチレン系エラストマー合成樹脂を使用した止着材(3)と、正面と背面の間は、上部に横長長方形の止着材(3-1)を使用しているが、両面テープに変えて使用することが出来る。

【0012】

20

本発明の大きな特徴として、股用Y字型パッド本体(1)の背面に設置した2重ガーゼの陰部を被う布(2)に薬・体内から出てくる血液・膿などで汚れたら取り外して、交換することが容易に出来る構造した。

患者の立場として、重要なことは患部を清潔に保つために汚れた2重ガーゼの陰部を被う布(2)を交換し易い構造にする事が極めて重要と考える。

患部を清潔に保つために汚れたまま、不衛生にして長時間放置することは、健康を維持するためには極めて危険なものであり、本発明はこれらの問題を解決するために必要不可欠なものである。

【符号の説明】

【0013】

30

1. 股用Y字型パッド本体
2. 2重ガーゼまたは不織布の陰部を被う布
3. 下着側止着材
- 3-1. 正面と背面の布を密着させる止着材

【要約】

【課題】股にかゆみ、かぶれ、ただれ、湿しん、下着との擦れ、皮膚の乾燥等が生じた場合は、皮膚科で塗布材を塗った後、患部をガーゼで被い、下着との擦れを防ぐようにしなければならないが、特にかゆみが強く発生する場合は大変困難である。

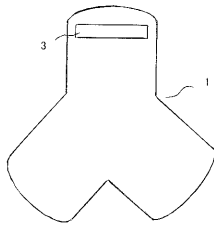
その都度ガーゼを用意しなければならない何とかしなければならない課題である2重ガーゼの陰部を被う布で陰部を被うことが出来る股用Y字型パッドを提供する。

40

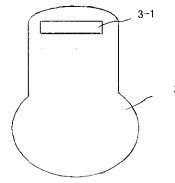
【解決手段】股用Y字型パッド全体の構造は、正面から見て布を使用したYの字を逆さまにした形状にして、股用Y字型パッド本体の上部に横長長方形の止着材を結合させて、また2重ガーゼの陰部を被う布を背面側との接する部分に横長長方形の止着材で密着させた事の特徴とする。

【選択図】図1

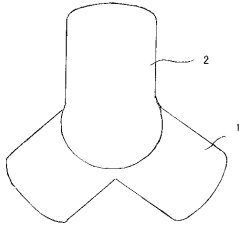
【図1】



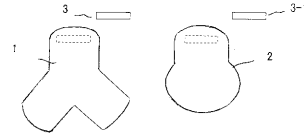
【図3】



【図2】



【図4】



---

フロントページの続き

(56)参考文献 登録実用新案第3105250(JP,U)  
実開平04-111326(JP,U)  
実開昭61-098802(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)  
A61F 13/00 - 13/84  
A41B 9/12  
A41D 13/05